



令和3年10月号

## 自分への振り返りとして

- ①目の前にいる子どもの5年後・10年後・20年後を思い浮かべながら今に向き合う。
- ②可能性を広げ、選択肢を増やし、自己選択・自己決定に繋げる。
- ③自分を知り、自分を認める。

上記の事は、私が子どもたちと関わる中で大切にしている指針の中の一部です。様々な場面で言い続けており、職員の中には聞き飽きてしまった人もいるかもしれませんが、自分自身に言い聞かせる意味も込めて言い続けています(笑)。という事で、今回は自分自身の振り返りも含めての文章です。

- ①、子どもの計画書や活動を考える時に大切にしている事になります。私たちが活動や計画書を考える時の手順として、どうしても今の課題や苦手な事からスタートをしてしまいがちです。しかし、それではマイナスからのスタートになってしまい、苦手な事ばかりに向き合う事になります。そうではなく、将来の姿をイメージする事で、その姿に向かって得意な事を活かして行ける様に支援を組み立てています。
- ②、大人になった時に自分の人生を自分で決めて行く為に、自己選択・自己決定の手段や方法をその子が実行しやすいやり方を一緒に考えています。その子の将来の可能性や選択肢の幅を広げる事で、選べる環境を作った上で選んでもらいたいと考えています。人によっては、選択・決定を一人でする事が難しい場合もあると思います。その時には、よりサポートが受けられやすい環境作りや手段も身に付けて行ける様に支援をします。
- ③、自分の事は分かっている様で分からない事だらけです。場合によっては自分自身の事が一番わからないという事もあるでしょう。子どもたちには、自分の得意な事・好きな事・興味がある事、苦手な事、嫌いな事…様々な事を知ってもらいたいと考えています。その上で、どんな自分でも認めて欲しいです。その為にも、私自身が子どもたちの今の姿を認めて行きながら「それでも良いよ」「そのままで良いよ」というメッセージを発信したいと考えています。今を認める所からスタートをして、その上で得意な事を活かしながらどの様に成長をして行けば良いのかを考えていきます。

面談という短い時間の中では伝えきれない事もたくさんあります。それでも、私たちが子どもをどの様な視点で見ている、何を目指して行っているのかを共有する場として大切にしています。年2回の定期面談となっていますが、皆様のご希望があればこの期間以外にも面談を組む事が出来るので、何か気になる事や確認をしたい事などあればお気軽にお声がけ下さい。

嵯峨憲司

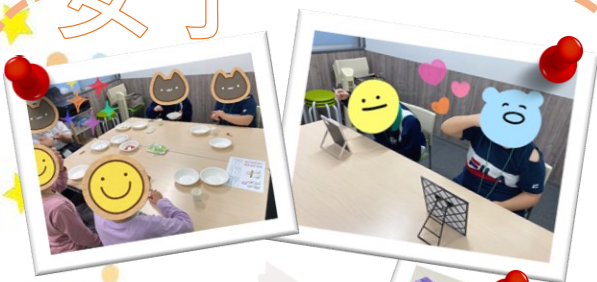


# 9月活動報告

## ～1部生活プログラム～

今期の生活プログラムは、男女に分かれてそれぞれ生活の中で必要なスキルを身に付けることを目標にプログラムを行っています。それぞれの活動内容をご紹介します！

### 女子



☆髪型プログラム  
オリジナルヘアピンを  
作り、ヘアアレンジの  
練習をしました！

### 男子



☆服装プログラム  
季節や気温、TPOに合  
わせた服装についてゲー  
ム形式で学びました

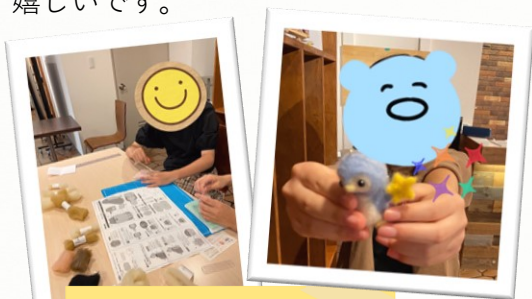
☆敬語プログラム  
正しい言葉の使い分  
けについて学びます



### 2部

## ☆趣味を見つける時間に...

2部ではMJカンパニーの仕事依頼を行うだけでなく、趣味を見つけたり深めるための時間としても活動を行っています。趣味は人生の楽しみ。今まで知らなかったことでも、色々なものに触れて夢中になれるものが見つかる機会になれば嬉しいです。



羊毛フェルトに挑戦中！  
時間を忘れてしまうほど  
集中しています☆  
完成が楽しみ！

景品用プラモデルの組み立  
ての仕事に熱中！今では自  
分のプラモデルを購入し組  
み立てて楽しんでます☆

